

くち みかくがいらい 口のかわき・味覚外来

ドライマウス(口腔乾燥症)とは？

唾液分泌量の減少や質が変化することにより、口の中が乾いた状態のことをいいます。ドライマウスにより口の中がピリピリ痛んだり、味が分かりにくい、口臭がする等様々な症状を合併します。



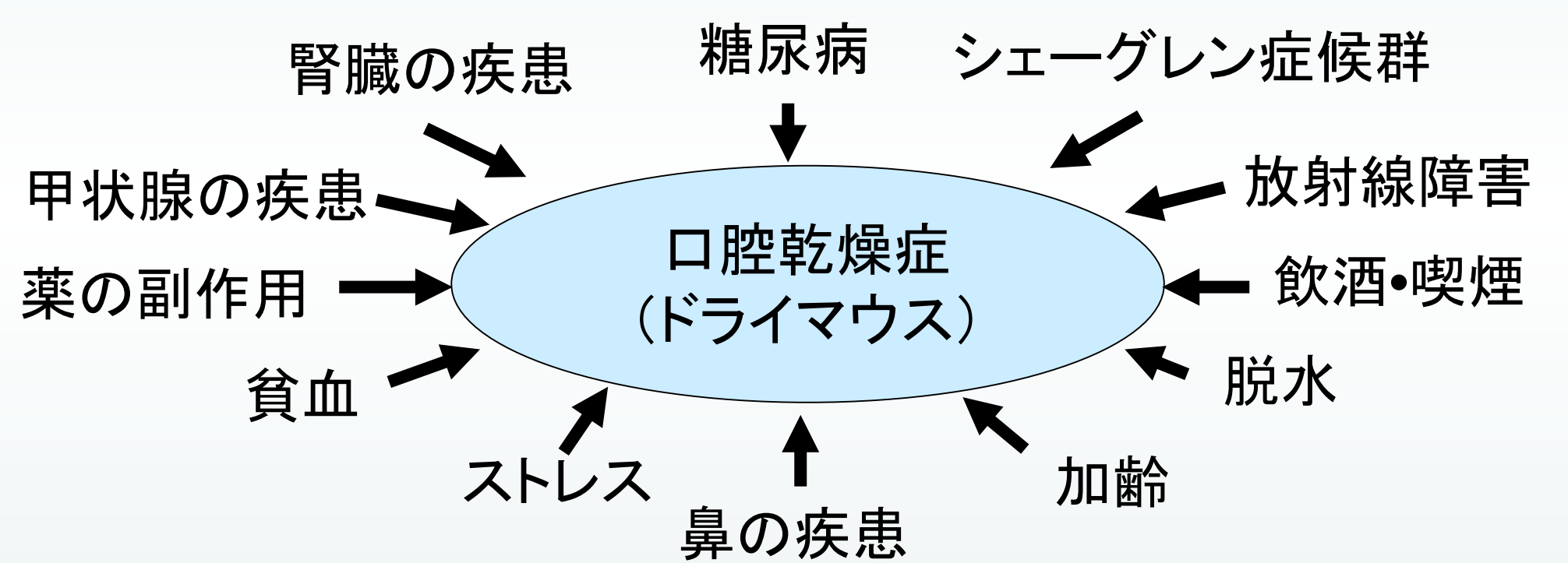
以下の様な症状はございませんか？

- ◆ 口の中がいつもネバネバしている。
- ◆ クッキーなどパサパサしたものが食べにくい。
- ◆ 口や喉が乾いて、ペットボトルが手放せない。
- ◆ 口の中が渴いて、会話するのがおっくうだ。
- ◆ しゃべっていると声がかすれてしまう。
- ◆ 口臭がきついと言われている。
- ◆ 食べ物を飲み込むのが辛い。
- ◆ 入れ歯がすぐに落ちてしまう。
- ◆ 舌がヒリヒリ痛い。

ドライマウスの検査は？

ガムテストやサクソンテスト、吐唾法等を行って、唾液の分泌量が減少しているかどうか評価します。また口腔水分計を用いて口腔粘膜が乾いていないか測定します。いずれも、体の負担が少なく簡便に出来る検査です。

ドライマウスの原因は以下の様なものがあります。



ドライマウスは加齢やストレスだけでなく、様々な全身の病気とも密接に関与しています。

ドライマウスの治療は？

全身の病気が関与している場合、必要に応じて薬による治療、専門診療科への紹介をします。加齢やストレスが原因の場合は、唾液腺マッサージや、水分摂取の励行、口腔ケア等が重要です。

味覚障害とは？

何らかの理由で、食べ物の味や食感が変化した状態を言います。

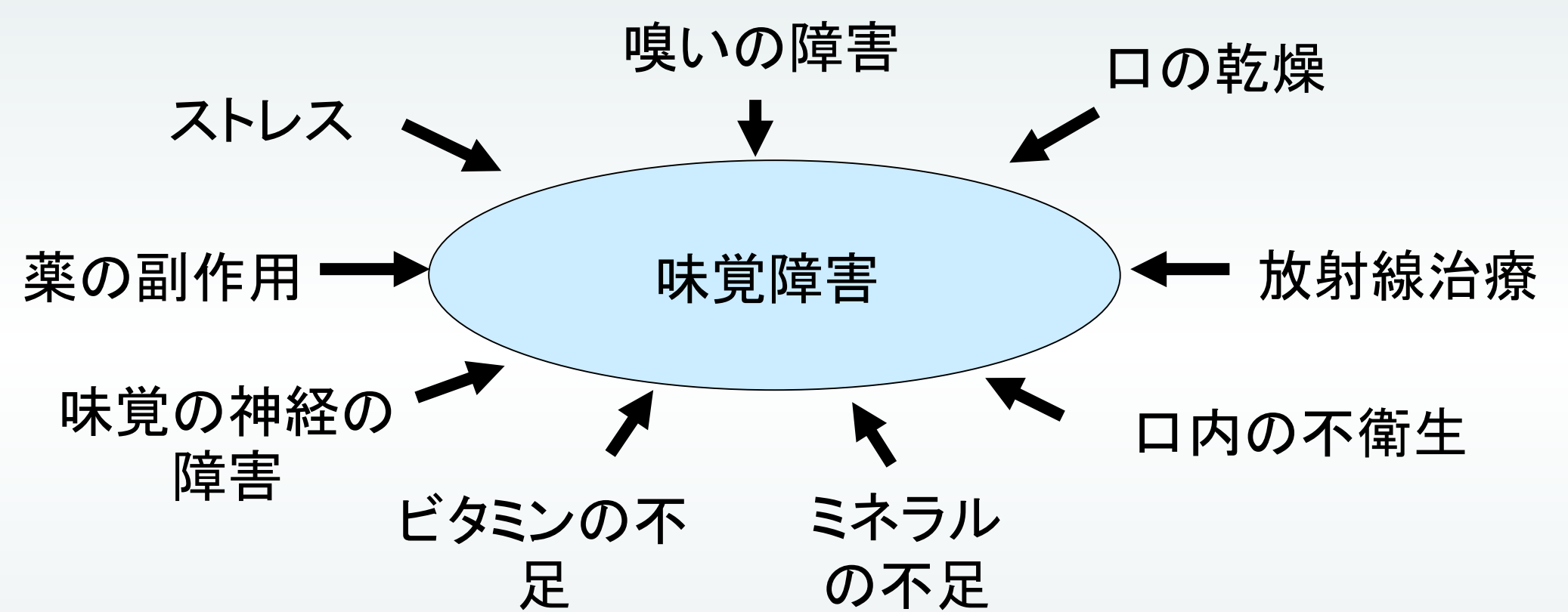
以下の様な症状はございませんか？

- ◆ 味がわかりづらい。
- ◆ 本来の味と違った味がする。
- ◆ 口のなかに何も入っていないのに変な味がする。

味覚障害の検査は？

ドライマウスと同様の検査を行います。また必要に応じて濾紙ディスク味覚検査を行います。これは、味の付いた濾紙を舌などに乗せて味が分かるか調べる検査です。血液検査を行い、ミネラルやビタミンの不足や過剰がないか調べます。

味覚障害の原因は以下の様なものがあります。



味覚障害の治療は？

原因により異なります。関係する診療科と連携しながら治療を行います。

これらの治療法にはそれぞれの特徴があります。また、口の中の状態により選択できる治療法は異なります。どの治療法が適しているのか、担当医にご相談ください。

担当診療科 ： スペシャルニーズ歯科・予防歯科・口腔顎顔面外科



岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL